

# 令和5年度 年間授業計画

学年 必・選	3 年 自由選択	教科	地理歴史	科目	日本史 B	単位 数	3 単位
教科書		詳説日本史 B（山川出版社）		使用教材	新詳日本史（浜島書店） 詳録新日本史史料集成（第一学習社）		
授業 担当者名		酒匂 港・川崎 朝彦					

		指導内容	指導目標	予定 時数
一 学 期	中間 考 査	1. 日本文化のあけぼの 2. 律令国家の形成	遺跡や遺物、史料をもとに生活の変化、小国の成立、ヤマト政権の成立について考察できる。律令国家の形成過程、奈良時代の律令国家とその矛盾について理解する。	24
	期末 考 査	3. 貴族政治と国風文化 4. 中世社会の成立	藤原氏の権力伸張、律令体制の動揺と地方政治の混乱、武士の台頭との関連に留意して考察できる。鎌倉幕府の成立を荘園や土地制度の変遷とともに武家社会の形成として理解する。	24
二 学 期	中間 考 査	5. 武家社会の成長 6. 幕藩体制の確立	鎌倉幕府の滅亡から室町幕府の成立、南北朝の動乱の過程、室町幕府と東アジアとの交流を考察できる。また、庶民の台頭とともに一揆や下剋上と幕府権力の衰退を軸に戦国時代へ向かう過程を考察する。さらに、戦国大名の領国経営を史料をもとに理解できる。	24
	期末 考 査	7. 幕藩体制の展開 8. 幕藩体制の動揺	織豊政権から幕藩体制まで、近世社会の成立過程を理解する。文治政治の展開と経済の発展が武家社会に与えた影響を理解する。武家社会の経済的な弱点と改革の必要性、改革の結果と幕府の衰退を理解する。	24
三 学 期	学 年 末 考 査	大学入試問題演習	センター試験、国公立、私立大学の入試問題を多く解き、入試にむけて実践力を身につける。	9
	計			105

評価の 観点・方法	定期考査、小テスト、レポート提出などを通じて、上記内容の理解について評価する。
--------------	---